

コミュニティビルダーの経営学 地域・住民・工務店

文・及川洋樹＋編集部

コミュニティビルダー事例 vol.14

空創舎 [岩手県盛岡市]

地域の人と技術を守り、育てる 究極のものづくりを追求

カンカんと、若い大工たちがノミをたたく音が響きわたる。墨付けされた太く大きな部材を器用に転がしながら、次々と刻んでいく。「活気あふれる、これぞまさに大工の仕事場」という光景が目前に広がるのは、空創舎（岩手県盛岡市）の広大な加工場だ。社長の澤口泰俊さんの信念のもと、地元の木と、伝統の大工技術を生かした家づくりを貫く。ベテランから若手まで多能工化した大工集団を擁し、製材から基礎、左官、板金、建具・家具までこなすものづくりを極める地域工務店の現場を追った。

空創舎は創業16年。県産の南部アカマツをはじめとする地元の木を使い、伝統的な大工の技術で仕上げる豪快で美しい木組みの架構を持つ家が、地元のファンに支持されている。

高度な技術を要する家づくりを支えるのが30人近くいる社員大工だ。クリやケヤキの8寸材の大黒柱や幅5～6寸・長さ6m程の南部アカマツの長材タイコ梁など、市場に出回らない大きな部材を自社で製材・加工。澤口社長は「本物の木を全面的に用いる当社の家づくりでは、大工の技術が生命線。若い大工を育て、次の世代に技術を継承していくことに最も力を注いでいます」と語る。

理想のものづくりを追求

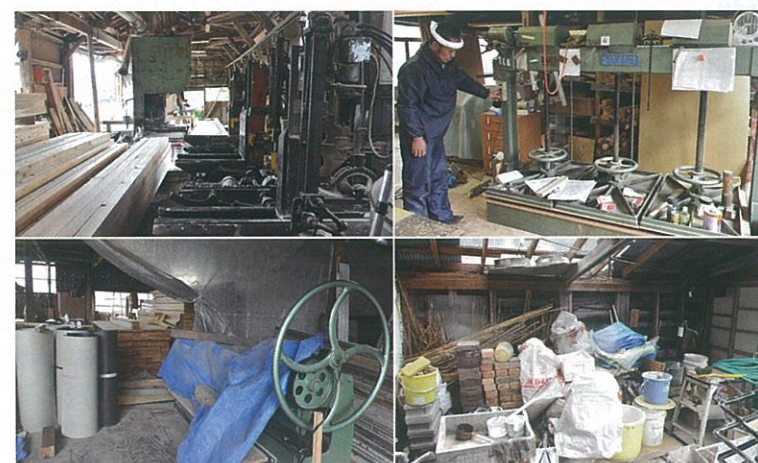
同社には、「本物の木を扱う本物の大工技術を学びたい」と入社を希望する若者が後を絶



地域を水害から守り続けてきた樹齢85年の南部アカマツを育った姿のままに生かしてタイコ梁に加工した木組みをあらわにした空間



道具は大工の命。時にはチョウナ（写真）やマサカリ、ヤリガンナといった伝統的な道具も実際に使って仕上げる



製材、建具、板金、左官といった機能を完備



南部アカマツを積み天然乾燥



澤口泰俊社長

たない。現在も社員大工のうち10人は20代の若手だ。そんな若手に対し澤口社長やベテランの棟梁たちは、まずは道具の使い方や、大きな部材を使い回せる体づくりなどについて指導。その後は、加工場と現場の両方で大工のイロハを仕込みながら、丁寧に若手を育てていく。

空創舎は現在、かつて拠点を構えていた盛岡の市街地から30kmほど北にある同市好摩にある。事務所や木材の加工場などを含む敷地の面積は3000坪という広さを誇る。実は、ここは製紙工場の跡地。東日本大震災で取引先が津波で流されて廃業を余儀なくされた企業の工場を競売で入手し、「理想のものづくりを追求しよう」と4年前に全面移転した。

多能工化とワンストップ化

移転を機に、澤口社長は、大

工の多能工化とワンストップ（自社完結型）の家づくりへと全面的にかじを切った。そこには「顧客の満足度と家づくりの質を高めながら、同時に地域の貴重な人と技術を次の世代へとつないでいく」という澤口社長の高い理想を本気で目指す決意がにじみ出る。

敷地内には積みで天然乾燥する木材のストックヤードから製材機を備える製材所のほか、木材加工はもちろん鉄筋、左官、板金、建具・家具の製作スペースなど、家づくりに必要な機能がそろそろ。そして、その全ての作業を担うのが多能工化された大工たちだ。

澤口社長は「敷地が広いだけでなく、工場跡地のため全て屋根付きなんです。これは本当に大きい。物件が出た時、理想を実現できると飛びつきました」と振り返る。

「本物の灯」ともし続ける

ただ、多能工化とワンストップ家づくりの目的は、内製化による効率化の追求ではない。澤口社長は「もちろん段取りや工程管理、生産性向上の面で基礎工事からはじまり左官、板金、建具まで自社の大工がこなしてしまうことのメリットは計り知れない」としながらも、「でも究極の目標はそこではないんです。一番大切なのは、あくまで地域の人と技術を守り残すこと」と訴える。

例えば同社が製材するのは、市場に出回っていない、購入したら非常に高額になってしまう特殊部材だけ。普通の下地材や根太、胴縁、間柱などは長く付き合っている製材所から購入する。「いま各地で製材所の廃業が相次いでいる。地元の木をひいてくれる地元の製材所は残っ

てもらわなければ困る」と思いを語る。

建具・家具の技術は、仕事量の減少で経営が難しくなった近隣の職人兼経営者を社員として迎え入れたところから、自社の大工に広がったもの。地域の人と技術を守った形だ。左官の技術については取引のある職人の協力を得て、そこに自社の若手大工を期間限定で修業に出して学ばせるが、「最近では、左官屋さんのほうがうちではない仕事で多忙な時に、うちの大工を手伝いに行かせたりするんですよ」と笑う。

本物の木を使い、伝統の大工の技でつくる本物の家づくりの灯を絶やさず、ともし続けるため、人と技術を守り、育て、そして次世代に継承する。澤口社長は地域工務店の使命として、今後もその役割を担っていくと決意を固める。

